

品番 LSEWC4064LE1
LSEWC4065LE1
LSEWC4066LE1
LSEWC4067LE1
LSEWC4068LE1
LSEWC4069LE1

お願い 施工時、使用の前に検知範囲、お出迎え時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意


必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

  してはいけない内容です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 実行しなければならない内容です。

警告

 **必ず守る**

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

 **分解禁止**

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

 **必ず守る**

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

 **必ず守る**

●お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
●本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する
本体の取り外しには資格が必要です。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

1 ダイヤル

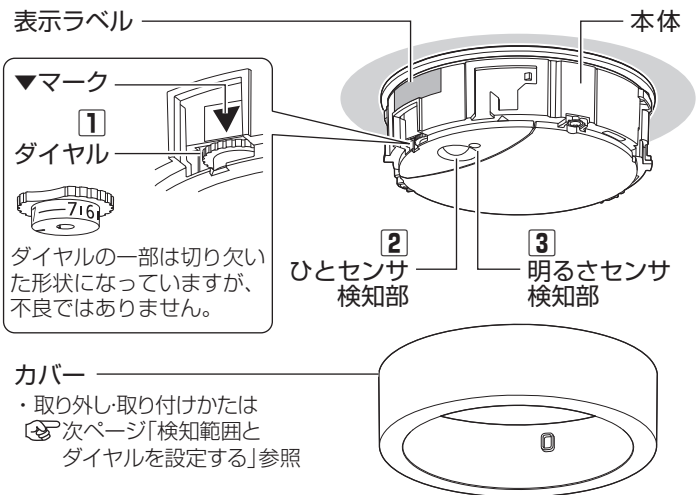
・使いかたに合わせて、設定してください。
(☞ 4ページ「点灯動作と設定方法」参照)

2 ひとセンサ検知部

・人の動きによる温度変化を検知します。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

3 明るさセンサ検知部

・周囲の明るさを検知します。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)



ダイヤルと表示ラベルについて

1 調整ダイヤル

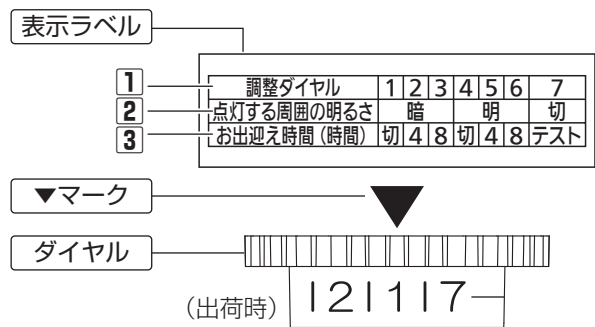
・番号により、点灯する周囲の明るさとお出迎え時間が設定されています。

2 点灯する周囲の明るさ

・人が近づいたときに点灯する周囲の明るさを「暗(約5 lx)」「明(約25 lx)」「切」に設定できます。
・「切」に設定すると、周囲の明るさに関係なく人が近づいた場合、約5秒間点灯します。

3 お出迎え時間

・お出迎え点灯を開始してから終了するまでの時間(お出迎え時間)を「約4時間」「約8時間」に設定できます。
お出迎え時間終了後は消灯しますが、人が近づけば約1分間点灯します。【お出迎えモード】
・「切」に設定すると、人が近づいた場合のみ約1分間点灯します。【ON/OFFモード】
・「テスト」に設定すると、周囲の明るさに関係なく人が近づいた場合、約5秒間点灯します。【テストモード】



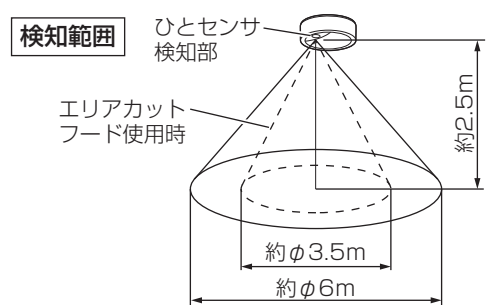
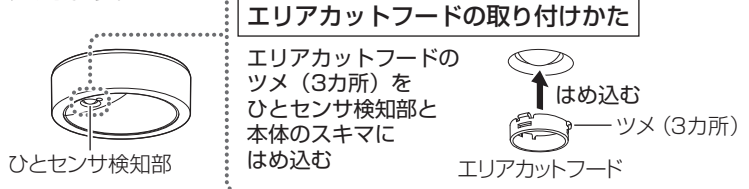
表示ラベル「調整ダイヤル」の番号に対応しています。
設定したい番号を▼マークに合わせ、ダイヤルが「カチッ」とするまで回してください。

センサの検知範囲とエリアカット

●ひとセンサはおよそ右図の「検知範囲」で検知します。

右図の「検知範囲」を参考にしてください。
(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)

●検知範囲は、付属のエリアカットフードを取り付けることで狭くできます。



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

●検知範囲が広がる場合

- ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
- ・人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき

●検知しない、検知感が鈍い場合

- ・人が静止しているとき
- ・周りが明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき
- ・検知エリアの周縁部分は場合により検知しにくいことがあります。

●勝手に点灯する場合

- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響をうけたとき
- ・ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

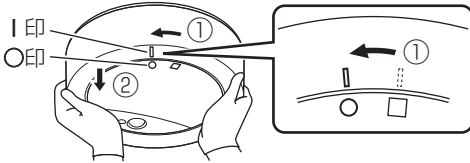
検知範囲とダイヤルを設定する

昼間でも設定できます

- 設定はカバーを取り外して行ってください。
設定終了後、カバーを取り付けてください。

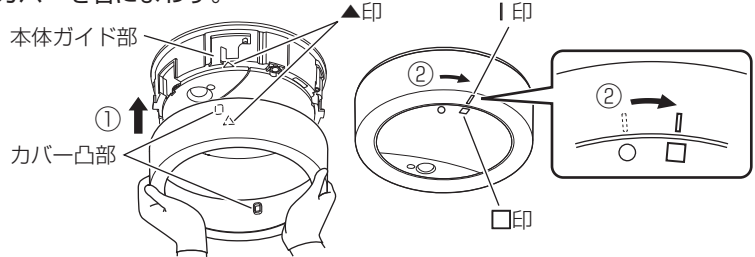
カバーの取り外しかた

- ①両手でカバーを支え、本体の○印にカバーのI印が合うまでカバーを左にまわす
・カバーを少し持ち上げるようにすると回転しやすくなります。
- ②カバーを外す



カバーの取り付けかた

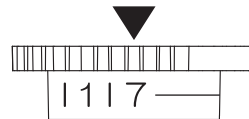
- ①▲を合わせてカバー凸部を本体のガイド部へ押し上げる。
・カバーの▲印と凸部は内側にあります。
- ②両手でカバーを支え、本体の□印にカバーのI印が合うまでカバーを右にまわす。



1 検知範囲を設定する

【手順】

- ①壁スイッチをOFFにする
- ②ダイヤルを右図の設定（7）にする
- ③壁スイッチをONにする
- ④センサの検知範囲の外に出る



・照明が約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

- センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る

- ⑤照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する
- ⑥検知範囲を変更したい場合は、エリアカットフードを取り付ける

☞前ページ「センサの検知範囲とエリアカット」参照

2 使いかたに合わせてダイヤルを設定する


- ・センサによる点灯には「お出迎えモード」「ON/OFFモード」「テストモード」があります。
使いかたに合わせてダイヤルを設定してください。（詳細な点灯動作および設定方法は ☞次ページ「点灯動作と設定方法」参照）

モード	お出迎えモード	ON/OFFモード	テストモード
動作	周囲が暗くなると、約20%の明るさで点灯します。（お出迎え点灯）人が近づくと100%点灯します。設定時間経過後にお出迎え点灯は終了し、人を検知すると100%点灯します。	周囲が暗くなり、人が近づいた場合に100%点灯します。	周囲の明るさに関係なく人が近づいた場合、約5秒間点灯します。（検知範囲を設定する時などにテストモードとして使用します。）
ダイヤル設定例	<p>▼</p> <p>ダイヤルを「2」「3」「5」「6」のいずれかに設定する</p> <p>調整ダイヤル 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>点灯する周囲の明るさ 暗 明 切</p> <p>お出迎え時間（時間） 切 4 8 切 4 8 テスト</p> <p>「2」…周囲が暗くなると（約5 lx）お出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。</p> <p>「3」…周囲が暗くなると（約5 lx）お出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。</p> <p>「5」…周囲が少し明るいうちから（約25 lx）、お出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。</p> <p>「6」…周囲が少し明るいうちから（約25 lx）、お出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。</p>	<p>▼</p> <p>ダイヤルを「1」または「4」に設定する</p> <p>調整ダイヤル 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>点灯する周囲の明るさ 暗 明 切</p> <p>お出迎え時間（時間） 切 4 8 切 4 8 テスト</p> <p>「1」…周囲が暗くなり（約5 lx）、人が近づいた場合に点灯します。</p> <p>「4」…周囲が少し明るいうちから（約25 lx）、人が近づいた場合に点灯します。</p>	<p>▼</p> <p>ダイヤルを「7」に設定する</p> <p>調整ダイヤル 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>点灯する周囲の明るさ 暗 明 切</p> <p>お出迎え時間（時間） 切 4 8 切 4 8 テスト</p>

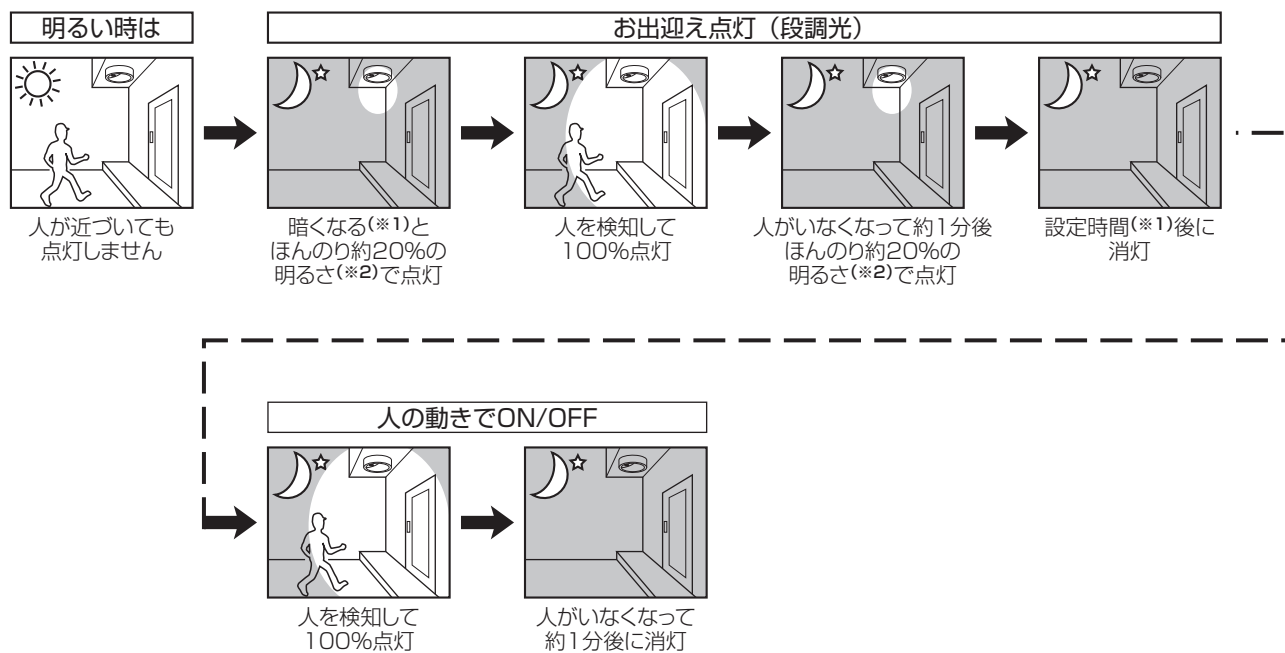
- （注意） ・ダイヤルが“カチッ”とするまで回してください。
・テストモード以外は、検知範囲に人がいても静止している場合、約1分後に消灯します。

点灯動作と設定方法

センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。
 - ・センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、ダイヤルを設定してください。
 - ・2種類の使いかたが選べます。（「お出迎えモード」または「ON/OFFモード」）
- ダイヤルの設定はカバーを取り外して行ってください。設定終了後、カバーを取り付けてください。
 - ・カバーの取り外し・取り付けかたは  前ページ「検知範囲とダイヤルを設定する」参照

お出迎えモードの動作説明



- ※1) お出迎え点灯を始めるときの周囲の明るさは、暗（約5 lx）と明（約25 lx）から選択できます。お出迎え点灯を開始してから終了するまでの時間（お出迎え時間）は、約4時間と約8時間から選択できます。
- ※2) 調光の数値は明るさ感比です。

設定方法

①壁スイッチをOFFにする

②ダイヤルを設定する

- ・ダイヤルを「2」「3」「5」「6」のいずれかに設定する。（ダイヤルが“カチッ”とするまで回してください。）

「2」…周囲が暗くなると（約5 lx）お出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。

「3」…周囲が暗くなると（約5 lx）お出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。

「5」…周囲が少し明るいうちから（約25 lx）、お出迎え点灯を開始し、約4時間後に終了します。

「6」…周囲が少し明るいうちから（約25 lx）、お出迎え点灯を開始し、約8時間後に終了します。

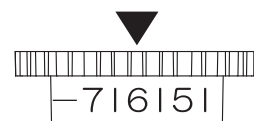
③壁スイッチをONにする

- ・壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯してから消灯します。

ご注意

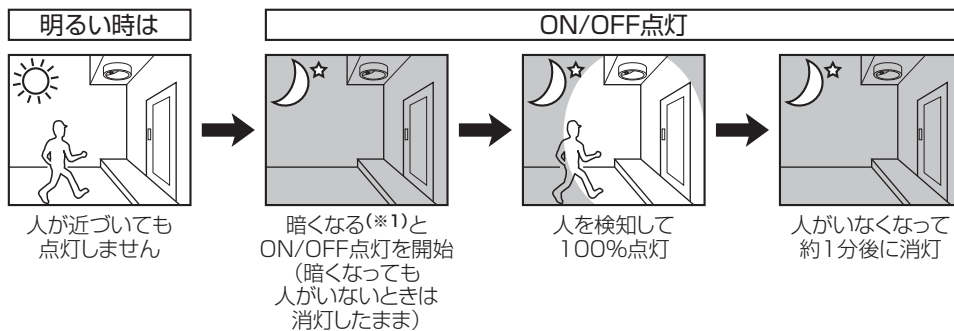
約40秒間点灯後に周囲が暗い場合、約1秒間消灯後、お出迎え点灯を始めます。

【設定例】



「6」に設定した場合

ON/OFFモードの動作説明



※1) ON/OFF点灯を始めるときの周囲の明るさは、暗(約5 lx)と明(約25 lx)から選択できます。

設定方法

①壁スイッチをOFFにする

②ダイヤルを設定する

・ダイヤルを「1」または「4」に設定する。
(ダイヤルが「カチッ」とするまで回してください。)

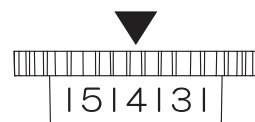
「1」…周囲が暗くなり(約5 lx)、人が近づいた場合に点灯します。

「4」…周囲が少し明るいうちから(約25 lx)、人が近づいた場合に点灯します。

③壁スイッチをONにする

・壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯してから消灯します。

【設定例】



「4」に設定した場合

人がいない時も点灯したままにする(連続点灯)

- 周囲が暗い時に壁スイッチ操作で連続点灯になります。(約15時間)
(☞ 下記「連続点灯への切り替えかた」参照)

壁スイッチ操作



連続点灯への切り替えかた

壁スイッチがONの状態から素早く(約2秒以内に)OFF→ONにする

センサによる点灯への切り替えかた

もう一度、壁スイッチがONの状態から素早く(約2秒以内に)OFF→ONにする

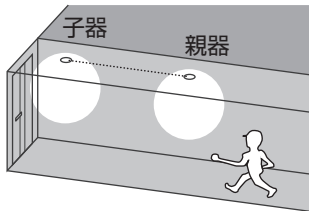
メモ

- ダイヤルで設定した明るさより周囲が暗いときだけ点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯は、約15時間です。約15時間連続点灯後は、自動的に消灯し、センサによる点灯に切り替わります。
- 約2秒以内の短い停電(瞬時停電)が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
- 連続点灯からセンサによる点灯へ切り替えた場合、周囲が暗いときは必ず点灯します。周囲が明るいときは点灯しません。
- 壁スイッチをOFFした場合、リセットされます。(壁スイッチONで約40秒点灯後、ダイヤルで設定したモードになります。)

別の照明器具との接続について

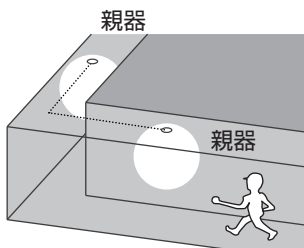
●別の照明器具と接続し、複数の器具を連動して点灯させることができます。

【ペア点灯】 親器—子器



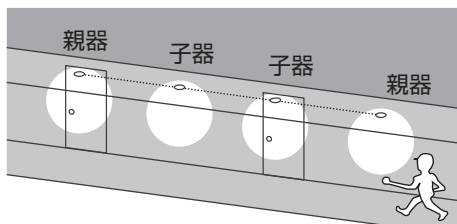
センサ付き器具（親器）とセンサなし器具（子器）を接続。
センサ付き器具（親器）が点灯するとセンサなし器具（子器）が連動して点灯します。

【ペア点灯】 親器—親器



センサ付き器具（親器）同士を接続。
どちらかのセンサ付き器具（親器）が点灯すれば、
もう一方のセンサ付き器具（親器）も連動して点灯します。

【多箇所点灯】 親器—子器—親器



2台のセンサ付き器具（親器）の間に
センサなし器具（子器）を接続。
どちらかのセンサ付き器具（親器）が点灯すれば、
すべての器具が連動して点灯します。

ご注意

- ・ペア点灯・多箇所点灯の場合、親器が検知・点灯してからわずかに(約0.5秒以下)遅れて、接続された子器・親器が点灯します。消灯時も同様です。
- ・親器同士を接続し、お出迎えモードとON/OFFモードをそれぞれ設定した場合、お出迎えモードが優先されます。連結する親器の設定をそれぞれ合わせることをおすすめします。
- ・ペア点灯(親器—親器)・多箇所点灯で親器2台を使用する場合、壁スイッチは1台目だけにのみ設置できます。
- ・お出迎えモードは調光機能のある器具のみ動作します。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
検知範囲に入っても点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている	壁スイッチをONにする	-
	設定した明るさより、周囲が明るい	ダイヤルを「明」に設定する	3ページ 「検知範囲とダイヤルを設定する」
検知範囲が小さい	エリアカットフードが取り付けられている	エリアカットフードを取り外す	2ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようふきとる	-
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります	2ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	雨の日に傘などで顔や手が隠れている		
マフラーで顔を覆ったり、手袋をしていて肌の露出が少ない			
検知範囲に人がいないのに点灯する	検知範囲に人以外の熱源がある 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機 風などでよくゆれる物(カーテン、植物) ストーブなどの暖房器具、加湿器などの蒸気	エリアカットフードを取り付けて検知範囲を狭くする	2ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	強力な電波、誘導雷サージなど電氣的雑音を受けたとき	約1分後、消灯します(故障ではありません)	裏表紙 「ご使用上に関するお知らせ」
	壁スイッチをONした直後	壁スイッチON後、約40秒は必ず点灯します(故障ではありません)	4ページ 「センサによる点灯」
人がいなくなってもなかなか消灯しない	壁スイッチの切り替えにより連続点灯になっている	壁スイッチを素早く(2秒以内)OFF→ONしてセンサ動作に切り替える	5ページ「人がいない時も点灯したままにする(連続点灯)」
周囲が明るいのに検知範囲に入ると点灯する	ダイヤルが「明」または「テスト」になっている (器具設置環境により異なります)	ダイヤルを「暗」に設定する	3ページ 「検知範囲とダイヤルを設定する」
検知範囲に人がいるのに消灯する	人が静止している(動きが小さい)	少し動けば点灯します(故障ではありません)	2ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	壁スイッチをONしてから1分以内	壁スイッチをONにしてから約40秒後にいったん消灯します	-
検知しにくいときがある	室温が高くなり、人と床面の温度差が小さい	温度変化量を検知しますので、温度変化が小さい場合、検知しにくくなります(故障ではありません)	2ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
連続点灯しない	設定した明るさより周囲が明るい	ダイヤルを「明」に設定する	3ページ 「検知範囲とダイヤルを設定する」
周囲が暗いのにお出迎えモードに入らない	ダイヤルが「テスト」になっている	ダイヤルを「暗」「明」に設定する	3ページ 「検知範囲とダイヤルを設定する」
周囲が明るいのに点灯したままで消灯しない	昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった	お出迎えモードでご使用の際は、昼間でも周囲が薄暗い時や、曇りや雨など暗くなった時は、夜と勘違いして点灯することがあります 壁スイッチを「OFF」にし、5秒以上経ってから、「ON」にしてください	-
	センサの検知部を傘、手などで覆ってしまった		
	壁スイッチを「OFF」にし、2秒以内に「ON」にした、または、2秒以内の瞬時停電があった	壁スイッチを「OFF」にし、5秒以上経ってから、「ON」にしてください	5ページ 「人がいない時も点灯したままにする(連続点灯)」
設定時間通りに消灯しない	ダイヤルが適切な位置で止まっていない	ダイヤルを「カチッ」とするまでまわす	3ページ 「検知範囲とダイヤルを設定する」

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切る
- ②約5秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常がある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙ご相談窓口にご相談ください。


ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。
- 強力な電波、誘導雷サージなどの電氣的雑音を受けると予期せず点灯することがあります。
- 壁スイッチONして約40秒点灯後、消灯する際に点滅することがあります。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

お手入れについて

電源を切って、灯具が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 検知部（ 2ページ「各部のなまえ」）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的（6カ月に1回程度）にやわらかい布で清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のもののでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	カバー色	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	使用環境
<input type="checkbox"/> LSEWC4067LE1	ホワイト	AC100V	50/60Hz 共用	7.7W (センサ待機時 約0.6W)	0.13A	屋外用
<input type="checkbox"/> LSEWC4068LE1	ブラック					
<input type="checkbox"/> LSEWC4069LE1	ブラチナメタリック					
<input type="checkbox"/> LSEWC4064LE1	ホワイト			5.8W (センサ待機時 約0.6W)	0.1A	
<input type="checkbox"/> LSEWC4065LE1	ブラック					
<input type="checkbox"/> LSEWC4066LE1	ブラチナメタリック					

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2018

LSEWC4064LE1-T4A3

N0418-031018